

Date:2018/7/18



富山県立南砺福野高校生36名が 利賀ダムの工事現場を見学



平成30年7月12日(木)に富山県立南砺福野高等学校の農業環境科1年生と造園土木類型2年生の生徒36名が利賀ダムの工事現場を訪れました。

この見学会は、建設業界の担い手確保・育成を目的として、ダム事業や橋梁工事等の現場に触れて、建設業界の魅力を学生に伝えるものです。

見学会の冒頭、生徒代表の福田崇人くんから「西日本豪雨災害を報道で目の当たりにして、治水の重要性を改めて認識したところです。今回の利賀ダムの現場見学を通してダムの役割を勉強したい」と力強い挨拶をいただき、職員も身が引き締まりました。



生徒代表 福田崇人くんからの挨拶



職員からの説明に熱心に聞き入る生徒たち

利賀大橋の現場では、工事概要説明の後、完成前の橋を徒歩で渡り、利賀大橋のスケールの大きさを体感しました。昨年度も見学している2年生は工事の進捗状況に感心している様子もありました。

座学では「ダム役割」などについての講義があり、少し難しい内容もありましたが、生徒たちは真剣に聞いていました。



座学の様子

見学会の最後には、代表生徒より「この見学会で学んだことを今後の課題学習に生かしたい」との挨拶をいただきました。

この見学会を通じて、利賀ダムや建設業界により関心を持っていただけたと思います。



利賀大橋を歩いて渡る生徒たち



見学会の記念に笑顔でパチリ